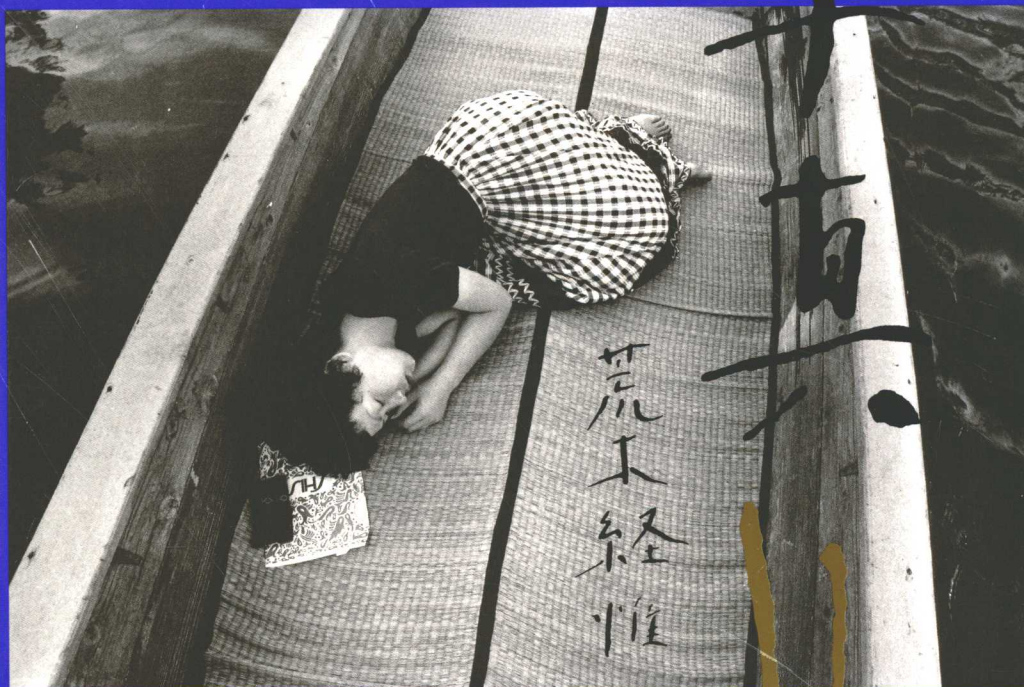




荒木経惟

宇野浩二

愛

直到生命盡頭
我依然相信寫真

荒木経惟

黃亞紀 原

宇野浩二の愛を
信じていた

荒木経惟 寫真Ⅱ愛

荒木經惟

榮起いりど秘は

黃亞紀 訳

Uni-Books 原點出版

By Nobuyoshi Araki

Copyright © 2010 Nobuyoshi Araki

All Rights Reserved

Original Japanese edition published by Nihon Tosho Center

This Complex Chinese edition is published by arrangement with Matrix Inc., Hisako Motoo (eyesencia), Tokyo in care of Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

Complex Chinese edition © 2012 by Uni-Books, a division of AND Publishing Ltd.

SPECIAL THANKS TO: Hisako Motoo, Yaji Huang

荒木經惟

我直荒
依到木
然生經
相生命惟
信盡
寫頭
真

荒木經惟
寫真
——
愛

作者 荒木經惟

譯者 黃亞紀

美術設計 何佳興

日文審訂 鄭麗卿

校對 吳莉君

責任編輯 王建偉

特別感謝 本尾久子、黃亞紀

行銷企劃 郭其彬、王綏晨、陳詩婷

張瓊瑜、夏瑩芳、邱紹溢、呂依緞

總編輯 葛雅茜

發行人 蘇拾平

出版 原點出版 Uni-Books

Facebook Uni-Books 原點出版

Email uni.books.now@gmail.com

台北市105松山區復興北路333號11樓之4

電話 (02) 2718-2001 傳真 (02) 2718-1258

發行 大雁文化事業股份有限公司

台北市105松山區復興北路333號11樓之4

24小時傳真服務 (02) 2718-1258

讀者服務信箱

Email andbooks@andbooks.com.tw

劃撥帳號 19983379

戶名 大雁文化事業股份有限公司

香港發行 大雁(香港)出版基地·里人文化

地址 香港臺灣橫龍街78號正好工業大廈25樓A室

電話 852-24192288 傳真 852-24191887

Email anyone@biznetvigator.com

初版一刷 2012年09月 定價 450元

ISBN 978-986-6408-63-2

版權所有·翻印必究 (Printed in Taiwan)

ALL RIGHTS RESERVED 缺頁或破損請寄回更換

大雁出版基地官網: www.andbooks.com.tw

(歡迎訂閱電子報並填寫回函卡)

譯目: 荒木經惟 實をいうと私は、
写真を信じています

ISBN 978-986-6408-63-2 (平裝)

1. 荒木經惟 2. 攝影 3. 文集

384 面: 15 × 21 公分

國家圖書館出版品預行編目(CIP)資料
荒木經惟 寫真——愛——直到生命盡頭，我依然相信寫真 / 荒木經惟作 · 黃亞紀
譯 · 初版 · · 臺北市 · 原點出版 · 大雁文化發行，2012.09

I 往攝影の旅 写真への旅

〇〇八 母親の死 —— 或家庭攝影術入門 母の死 —— あるいは家庭写真術入門

〇二八 私現實 —— 或風景攝影術入門 私現實 —— あるいは風景写真術入門

〇四八 父親的愛人 —— 或肖像攝影術入門 父の愛人 —— あるいは肖像写真術入門

〇六八 往攝影の旅 写真への旅

〇七二 雨後の肉眼戰 雨上がりの肉眼戰

〇八二 紀實・廣島 ドキュメント・広島

II 拍攝天空 空を写す

〇九八 《感傷之旅》序 《センチメンタルな旅》まえがき

一〇二 我的攝影哲學 私の写真哲学

一〇四 西之市 西の市

一一〇 給丈母娘的 妻子照 母に送る妻の写真

一一六 與妻之旅 妻との旅

一二六 少女跳入深緑中水中花 深緑に少女とびこみ水中花

一三〇 無論到哪裡我倆都搭乘浪漫特快 どこまでもふたりの旅はロマンスカー

一三四 妻子的遺照 妻の遺影

一四四 說「謝謝」後死去的陽子 「ありがとう」といって死んだヨーコ

一五八 拍攝天空 空を写す

一六六 夏日時光 サマータイム

一七〇 私之旅 私の旅

III 偽真實 嘘 眞実

一八〇 私的實驗室 私の実験室

一八四 男女之間，存在著相機 男と女の間には写真機がある

一九六 相機就是性器 写真機は性具なのである

二一四 脱衣秀攝影論 ストリップ・ショウは写真論である

二三〇 役者繪 役者絵

二三六 偽真實 嘘真實

二四二 「阿幸」是我的自拍 「さっちゃん」はセルフタイマー・フォトです

二五二 加入提神成分的小便寫實主義 アリナミン入りのショウウペン・リアリズム

二六〇 記日期照片 日付入りの写真

二六六 拉提格，和他輕快的腳步 ラルティーク、その軽やかな足どり

二七二 英雄既不裸體，也不裸露 英雄は裸にならない、裸にしない

二七六 私情寫實主義 私情がリアリズムになった

IV 彼岸的鬱金香 彼岸にチューリップ

二九六 記憶的、可口可樂 記憶の、コカコーラ

三〇四 鬼燈籠 オバケちようちん

三一〇 十年後 10年後

三一四 東京寫真物語 東京写真物語

三二〇 淺草通 淺草通い

三二八 風的情色主義 がぜのエロティシズム

三三二 彼岸的鬱金香 彼岸にチューリップ

三三八 我的寶貝 私のとおき

三四四 CHITTO 教我的事 チロちゃんに教わったこと

三四八 我的攝影全都是「愛」喔 アタシの写真はみんな「愛」よ

卷末附錄 三六二 譯後記 愛的攝影

三六五 訪 荒木經惟

三七六 圖說和原文出處

荒木経惟 寫真Ⅱ 愛

Uni-Books 原點出版

直到生命盡頭
我依然相信寫真

荒木経惟

宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集
宇野浩二 写真集

黄亞紀 訳

I 往攝影的旅程 写真への旅

〇〇八 母親的死——或家庭攝影術入門 母の死——あるいは家庭写真術入門

〇二八 私現實——或風景攝影術入門 私現実——あるいは風景写真術入門

〇四八 父親的愛人——或肖像攝影術入門 父の愛人——あるいは肖像写真術入門

〇六八 往攝影的旅程 写真への旅

〇七二 雨後的肉眼戰 雨上がりの肉眼戰

〇八二 紀實・廣島 ドキュメント・広島

II 拍攝天空 空を写す

〇九八 《感傷之旅》序 《センチメンタルな旅》まえがき

一〇二 我的攝影哲學 私の写真哲学

一〇四 西之市 西の市

一一〇 給丈母娘的 妻子照 母に送る妻の写真

一一六 與妻之旅 妻との旅

一二六 少女跳入深緑中水中花 深緑に少女とびこみ水中花

一三〇 無論到哪裡我倆都搭乘浪漫特快 どこまでもふたりの旅はロマンスカー

一三四 妻子的遺照 妻の遺影

一四四 說「謝謝」後死去的陽子 「ありがとう」といって死んだヨロコ

一五八 拍攝天空 空を写す

一六六 夏日時光 サマータイム

一七〇 私之旅 私の旅

III 偽真實 嘘 眞実

一八〇 私的實驗室 私の実験室

一八四 男女之間，存在著相機 男と女の間には写真機がある

一九六 相機就是性器 写真機は性具なのである

二一四 脱衣秀撮影論 ストリップ・ショウは写真論である

二三〇 役者繪 役者絵

二三六 偽真實 嘘真實

二四二 「阿幸」是我的自拍 「さっちゃん」はセルフタイマー・フォトです

二五二 加入提神成分的小便寫實主義 アリナミン入りのショウペン・リアリズム

二六〇 記日期照片 日付入りの写真

二六六 拉提格，和他輕快的腳步 ラルティグ、その軽やかな足どり

二七二 英雄既不裸體，也不裸露 英雄は裸にならない、裸にしない

二七六 私情寫實主義 私情がリアリズムになった

IV 彼岸的鬱金香 彼岸にチューリップ

二九六 記憶的、可口可樂 記憶の、コカコーラ

三〇四 鬼燈籠 オバケちようちん

三一〇 十年後 10年後

三一四 東京寫真物語 東京写真物語

三二〇 淺草通 淺草通い

三二八 風的情色主義 かぜのエロティシズム

三三二 彼岸的鬱金香 彼岸にチューリップ

三三八 我的寶貝 私のとおき

三四四 Chiro教我的事 チロちゃんに教わったこと

三四八 我的攝影全都是「愛」喔 ノアタシの写真はみんな「愛」よ

卷末附錄 三六二 譯後記 愛的攝影

三六五 訪 荒木經惟

三七六 圖說和原文出處

I
往攝影的旅程

寫真への旅

母
の
死
——
あ
る
い
は
家
庭
写
真
術
入
門